複数の障害種の専門性を生かした指導改善シート（様式例）

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 観点・内容 |
| ①実態把握 | 運動機能□利き手の確認( 　　　　　　　　　　)□目の使い方( 　　　　　　　　　　)□手首、腕の使い方( 　　　　　　　　　　)□指の使い方( 　　　　　　　　　　)□姿勢の様子( 　　　　　　　　　　)□その他( 　　　　　　　　　　) |
| □聞こえ方、見え方 □聴力　　　ｄB　　　　　　□視力　　　□使用している補助具等 |
| □アセスメントの実施（有・無）アセスメント名 (　　　　　)アセスメント結果（　　　　　） |
| □コミュニケーションツール |
| □学習や認知の様子 |
| □自立活動の内容と関連付けた課題 |
| ②指導目標 |  |
| ③指導目標を達成するために解決すべき課題 |
|  |
| ④学習上の課題の改善に向けた手だて |
|  |
| ⑤指導した内容 |
|  |
| ⑥児童・生徒の変容 |
|  |

児童・生徒の実態を的確にとらえるために、客観的なアセスメントとともに、日常生活や日々の学習場面における様子からも情報を集めます。

**ポイント**

※　本様式を参考に、各校の実態等を踏まえて記載すべき内容などを工夫して活用してください。